

# 江南市地域公共共通を語る会の各回の成果

8月20日（土） 布袋ふれあい会館

(Aグループ) 現状報告に対する意見

## いこまいCAR

- ・当初の相乗りいこまいCAR制度を再度構築する必要あり。
- ・相乗りできる制度にするべき。
- ・いこまいCARの予約がネックになっている。当日急に利用したい時に利用できない。
- ・いこまいCARが今も引き続き利用できていることが知れてなかった。障害者福祉タクシーも利用できることが知られてなかった。
- ・今後高齢者が増える傾向等の観点から今以上の税金等を増やして充実させていただきたい。

## 名鉄バス

- ・布袋駅まで行かないとバスに乗れないが駅へ行く方法を考えると利用できない。
- ・江南市も大口町みたいなコミュニティバスのような方法もあるんじゃないかな？名鉄バスの名より江南市バスみたいに名前をかえてみたら市民が利用しやすいのでは？
- ・バス乗車率の数値のデータ→区間ごとに。
- ・中奈良町本郷地区はバス停までが遠いため名鉄バスを利用しにくい。(公共交通のカバー外)
- ・バス利用者(いこまいCAR)利用者のうち厚生病院、買物利用者の人数のデータが欲しい。
- ・半径300mでアクセスできるように。

## 他市町の状況は？

- ・利用者と費用(個人、行政)
- ・小牧市、岩倉市、他市のコミュニティバスの状況

## 公共交通を知らなかった

- ・公共交通が約8万人(80%)カバーできていると伺い正直驚いた。
- ・いこまいCARを利用したことがなかったので登録者が多いのに驚いた。
- ・いこまいCARについて具体的な利用方法等十分周知されていないと思われる。

(Aグループ) 今後どのような対応をすべきか

## いこまいCAR

- ・当日予約ができると良い。利用時間帯の拡大。
- ・他市より良い方法になっているのか知りたい。良かったらもっと市民にわかる様にしてほしい。
- ・本当に必要な人にサービスを提供する。
- ・希望朝6:00～夜10:00
- ・乗合での利用率を増やせるような方法を検討すべきこれにより利用料金を引き下げ。
- ・相乗り制度の構築。
- ・目的と緊急性に応じて分類するべき。
- ・予約をなくしタクシー同様とすれば利用が増える。
- ・何かしらの制限があってもいいのでは(年齢等)

## 名鉄バス

- ・全ての地域でバス停までの距離を500メートルくらいにできるとよい。
- ・バスの車両を小さくして頻度を増やす。
- ・バスの本数が少ない→多くしてほしい。利用しにくい→利用しやすくしてほしい。
- ・赤字バス路線の補助はやめるべき。
- ・もっと大勢乗る工夫をしてほしい。

## 公共交通の要望

- ・公共交通のカバーされない地域に対して何らかの対策を考えてほしい。
- ・市内特定交通弱者への特定サービスの検討。
- ・高齢者社会になった時病院、買い物へ行く足が必要。運賃を安くして利用しやすくしてほしい。
- ・自分又は家族で車が使用できない高齢者、障害者に対しきめ細かい対応をすべき。(ターゲットを明確に)

## 更なる分析希望→市民への公表

- ・いこまいCARと名鉄バスで江南市全部カバーをしているがそれで良いのか。一本化したコミュニティバスを作ったらよいか？財政補助金が少なくなるか？6千万円の補助は多くないか？
- ・福祉車両の昼間の別用途利用(法制度は？)
- ・デイスサービス等福祉施設は福祉車両等を保有しているが朝、夕方以外は車が遊んでいると思われる。市と連携して有効活用ができないか。
- ・検討の為に他市町村(同スケール→人口、面積)の事例を示してほしい。(コミュニティバス等)

(B グループ) 現状報告に対する意見

アンケート

・H25アンケートで税金の投入が少ない方が良いと意見が多い。利用しやすい制度ができれば税金の投入もよいと思われるが。  
・みんなで使えれば投入できれば。

空白

・いこまいCAR→高い  
・電車、バス、いこまいCARで市民の足が確保されていると言われましたがいこまいCARは使いにくく高額であり利用できない。確保されていると判断するのはおかしい。  
・空白地域に住んでいる。年数回酒屋の懇親会には春明(一宮市)のバス停から乗車。

スポンサー

・企業スポンサー(大口町)  
・広告等スポンサーをつける。「さくらバス」のようにバス停に名前をつける。

いこまいCAR・使用方法

・タクシー、いこまいCARの使い分けができない。  
・いこまいCAR(予約便)について、高齢者タクシー助成と思っていた。高齢者のみと思っていた。  
・高齢者タクシー48枚は二人で利用すれば98回利用できるものですか？

いこまいCAR価格

・公共交通のカバー状況78,531人。残りの人に対するカバーをどうするのか。いこまいCARだよりは限界があり使いにくい。高額のため。  
・いこまいCAR生活圏にあっていない。市内のみ。

外側不便

・ピンクの外側不便

駅東

・名鉄路線より東側は名鉄バスが走っていない。  
・大口町のバス便数が少ない。

赤字の基準

・名鉄バスの補助金について、予約便とほぼ同額である。名鉄への補助金の基準は？

将来不安

・今は車に乗っているが高齢で車にのれなくなった時が不安。  
・将来不安

市内のみ

・いこまいCAR生活圏にあっていない。

方法の工夫を

・夜の巡回バス。飲み帰り対策  
・巡回バス  
・バスを小型化して、細かい路線にしてほしい。

利用者について

・利用状況からみると年々増加しているので今後の対応が心配。

いこまいCAR増えるほど赤字

若い世代が利用しやすい様に出来れば(高校生)

(B グループ) 今後どのような対応をすべきか

高齢者の外出支援

・高齢者を外出させる。  
・老人クラブ活動を考える。  
・病院へ行けるのは元気な証拠との意見さえ聞きますが老人会等の活用により病院へ行く回数を減らす事も一方法かと思えます。

買物サービス

・買物難民(車を利用できない人)と言われる人も多いと思いますので商店に定期便を運行してもらおう市が工夫すべき事があればと思います。  
・商店まわる。

ボランティアでやれる

・ボランティアでやれるのでは？  
・地域通貨のような券で近所の人に乗せてあげる。

方法を工夫

・とにかく利用者数を増やす。  
・小型バス、コミュニティバス、イメージも良い気がする。  
・かわいいイメージ。  
・大型は無駄。

サービス。

便数。

巡回バスについて  
名鉄以外の会社が事業者としてできるか。

市長に考えてほしい。

名鉄バス→コミバス化

・今の投入額をコミバスに振り替える。  
・名鉄バスやめても。  
・駅から、スーパーから、病院から自宅近く300メートル以内のバス停、コミュニティバスを走らせる。費用は名鉄バス補助金といこまいCAR補助金とバス利用料金。不足する分は市がもっと補助する。どのくらい必要か検討する。いかが。

投入の上限額を決める

・キャップ  
・上限額は議会で決めて。  
・市負担金の上限を定めることが必要ではないか。

大口町と一緒に

・生活圏。  
・いこまいCARは各地域の生活圏が違うため市外利用でも走行距離を決めて利用することができないか。  
・歩み寄り。  
・江南-大口一緒にやれない。

(C グループ) 現状報告に対する意見

バス

- ・布袋駅発のヘッドダイヤがバスと乗り継げない。
- ・待たなければならない。
- ・便数が少ない。
- ・バス到着情報が遅い。

福祉

- ・高齢者福祉タクシー助成(85歳)弱者対象年齢を実情に合わせた対象を考慮。
- ・福祉ボランティアマイカー利用(有料)登録制。

いこまいCAR

- ・いこまいCAR予約を現在の利用の前日までの予約から当日の予約に出来るようにしてもらいたい。
- ・予約便を使うかわからないので登録しづらい。
- ・定期便の時より予約便の負担増。
- ・定期便の時の方が利用者負担が少なかった。
- ・いこまいCAR利用者登録今わかりました。

その他

- ・企業バスの連携検討
- ・公共交通について十分理解できていませんでした。

(C グループ) 今後どのような対応をすべきか

バス

- ・乗り継ぎ・名鉄グループ内での
- ・名鉄バスが大きすぎる。乗客数からすればワゴン車くらいでよい。

福祉

- ・制度対象外弱者の拡大。
- ・ボランティアの発掘。
- ・自転車、車に乗れなくなった場合本当に温かい対応を望みます。お金の問題などで今はよくわからない都合あり。

いこまいCAR

- ・予約便で利用が多い区間で定期便化。
- ・いこまいCARの自動登録。
- ・予約便と福祉タクシーの役割分担。

その他

- ・企業と行政の連携。
- ・他の町、他県でもよいがユニークな公共交通の事例があれば教えて欲しい。
- ・新しくコミュニティバスでお願いしたい。